二葉幼稚園　園のたより　2019年 4月

キリスト教保育年主題　＝＝＝ことばに満たされて＝＝＝
～ひびきあう～

年主題聖句　「その人は流れのほとりに植えられた木」
ときが巡り来れば実を結び　葉もしおれることがない
その人がすることはすべて繁栄をもたらす　詩編1編3節

４月の聖句　　よろこび　たのしむものとして　イザヤ書65章18節

４月のさんびか　　ちいさい　おてて　　ようじさんびか　５

年間目標　　たえまない愛情や信頼感を感じる心の芽生えた子

～　ありのままで　～

希望の春を迎えました。
保護者の皆さま、お子さまのご入園、ご進級おめでとうございます。
新入園の子ども達にとっては、大好きなご家族と離れ、ご家族の深い愛情を基盤に自分の足で一歩を踏み出す時となりました。ご家族にとりましても、こども達が誕生する前から、慈しみ、育ててこられ、産声を聞いた時、「初めて」抱いた時、「初めて」見つめ合った時、「初めて」のほほえみ、喃語、寝返り、病気など数え切れない「初めて」を綴ってこられ、今また「初めて」幼稚園に送り出されることと思います。
進級した子ども達も、新しい仲間が加わり、新たなであいの一歩を踏み出します。それぞれのワクワク、ドキドキに寄り添いながら、まずはこども達一人一人を「ありのままで」受け入れ、私達も新たなであいを楽しみたいと思います。
二葉幼稚園の皆が希望溢れる１年を過ごせるように、教職員一同真心を込め、保育を進めて参ります。

今年度の年主題聖句は「その人は流れのほとりに植えられた木」です。流れのほとりに在るので、例え雨が降らなくとも（逆境に遭おうとも）根っこからいのちの水を吸い上げ育ちます。「その人」を「あなた」や「お子さまの名前」に置き換えてみて下さい。「あなた」が根っこから吸い上げているものは何でしょう？何故、私たちは逆境に遭っても枯れずに「今」を生きているのでしょうか？
二葉で出会ったこども達の大切な根っこを育む乳幼時期に、私達はこども達一人一人を心に思い描き、日々祈りつつ、愛のある「ことば」をもってともに歩ませて頂きたいと思います。二葉幼稚園も、流れのほとりに植えられた木として、皆さまとご一緒に，かけがえのないこども達の育ちに寄り添いたいと思います。ときが巡り、いつか結ばれる実に思いを馳せながら・・・。今年度もよろしくお願いいたします。